

現状と課題

◆ 全国学力・学習状況調査 (R5年度文科省)

学校への質問		岩手県	全国
前年度までに受けた授業でタブレット等を週3回以上程度活用したか※	小	71.4%	90.6%
	中	81.9%	86.7%

※「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した学校の合計。
下記の項目についても同様。

◆ 令和の日本型学校教育の「個別最適な学び」と「協働的な学び」実現のためのICTの活用
(データ出典は同上)

学校への質問		岩手県	全国
特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面(個別最適な学び)	小	26.3%	45.0%
	中	24.8%	35.7%

学校への質問		岩手県	全国
児童・生徒同士がやりとりする場面(協働的な学び)	小	21.5%	40.0%
	中	23.5%	33.7%

◆ ICTの活用が目的化してしまう懸念
⇒ 指導主事による授業改善等との一体的な取組が必要

◆ 学校における情報化の実態調査 (R4年度文科省)

ICT活用状況	岩手県	全国
統合型校務支援システム整備率	42.4%	86.3%
教員のICT活用指導力	74.0%	78.1%

児童生徒がICTを文房具と並ぶマストアイテムとして自由自在に使いこなしながら、情報活用能力を含む学習の基盤となる資質・能力を確実に身に付けていけるよう、ICTを効果的に活用した授業づくり等を推進することが必要

ICT活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現

個別最適な学び

指導の個別化・学習の個性化
特性や学習進度等に応じ、指導方法・教材等の柔軟な提供・設定、一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供

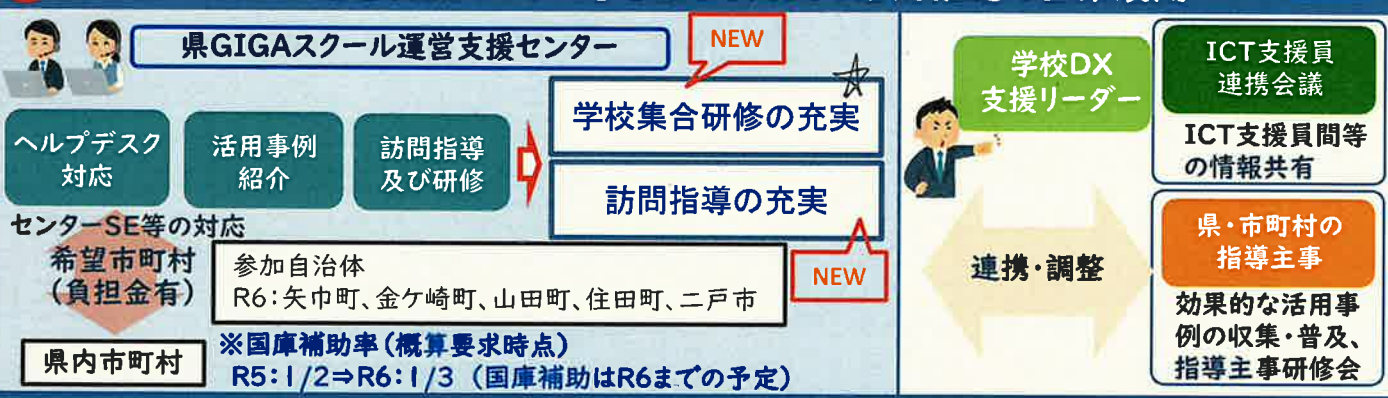
協働的な学び

生徒同士の思考の共有
児童生徒一人一人が自分のペースを大事にしながら共同で作成・編集等を行う活動や、多様な意見を共有しつつ合意形成を図る活動

一体的な充実

令和6年度においても、情報活用能力を含む学習の基盤となる資質・能力の育成に向け、「GIGAスクール運営支援センター」を核として、ICTを効果的に活用した授業づくり等を推進する。

① 「GIGAスクール運営支援センター」を核としたICT活用推進の全県展開 R4~



② 全県展開統一の統合型校務支援システム R5システム構築完了 R4~

共同利用開始時期 R6.4~: 11市町村 (R8までに全県導入予定)

③ ICTを活用した健やかな体の育成 R4~

◆ ICTを活用した「運動」「食」「生活」習慣サポート管理システムの調査研究

④ STEAMの視点による探究的な学びの深化 R5~

◆ 課題解決型学習の推進
【推進校(県立高校)9校】

⑤ 遠隔授業の実施 R4~

◆ 受信校6校で実施

⑥ ICTを活用した生涯学習環境づくりの推進 R5~

◆ 学校と社会教育施設等が連携した、デジタル技術実装の取組の推進

⑦ 県立学校における高機能ICT機器の整備等 R6 新

◆ デジタル・理数分野で活躍する人材を育成するための高機能ICT機器の整備等

⑧ 1人1台端末等を活用した「心の健康観察」の取組 R6~ 新

◆ 児童生徒が発するSOS等の早期発見・早期支援につなげるため、1人1台端末を活用した取組を推進